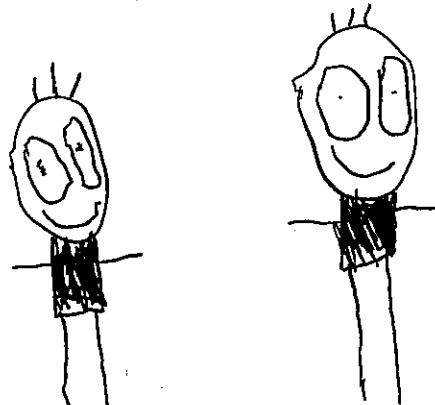


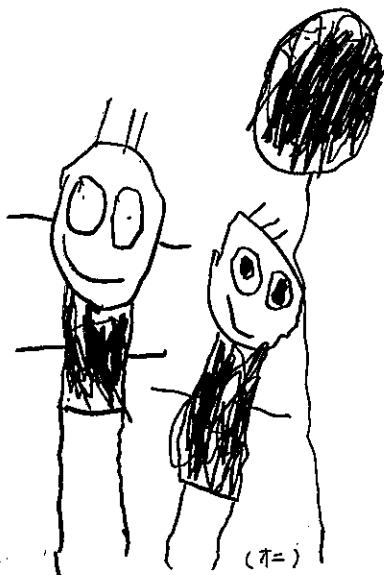
すきのこ たより4が

2023'



『鬼ごっこ』

STEP G



絵『ともだちとあそんでるところ』

ひまわり組



『広場でサッカーしている』 にじんいG

はれときどきハモマン



新たな一年の始まりです。幼児クラスの子ども達は一つ大きくなることに期待を膨らませ、一つ大きなクラスになる自分に誇らしさを持った表情をしています。乳児クラスの子ども達もこの一年どんな姿を見せてくれるか楽しみですね。すっかりおませにおしゃべりをするようになったり、活発に動きまわるようになったり、よく食べるようになったり、ひとりひとりの成長がとても楽しみです。私自身学ぶことがたくさんあります。今まであまり目を向けていなかった分野も深めていき、私も成長していきたいと思っています。自分をどんどんアップデートしていきたい！ということが目標です。

私は長く幼児クラスにいました。常に何かおもしろいことができないか、今の子ども達にはどんなことが必要かどんな遊びが必要か、と毎回その時の子どもを見ながら考えてきました。“おもしろいこと”のことばにはたくさんに意味が入っていると思います。ワクワクする、意欲的な気持ちになれる、笑顔になる、友だちと共有共感したくなる、まだまだあります。生き生きとひとつことを楽しむ、そんな活動をこれからも大切にしていきたいと思います。その活動のベースには、子ども達の安心し落ち着いた生活があると思います。4月は新たな始まりで担任や環境が変わりますが、子ども達が安心して過ごせるように、包み込むような関わりを深めていきます。そしてその先に、子どもたちもお父さんやお母さんもおもしろいと感じる活動を積み重ねていけたら幸いです。

さて、キョンキョンが杉の子保育園から
キョンキョンの包み込むような安心感、寄り添う姿は保護者の皆さんにとってとても頼もしいものだったと思います。私にとってもキョンキョンは大きな存在でした。私も皆さんに寄り添い、会話・対話をたくさんしていきたいです。保護者の皆さんにも気軽に何でも話してもらえたならと思っています。私もたくさんお声掛けさせてもらいますね。

保育園に異動となりました。

3月末のある日のこと、5歳児ひまわり組から4歳児こすもす組に“お当番引継ぎ式”がありました。ひまわりになると生活の中で自分たちの役割があり、それは自分たちで生活をつくっていくことのひとつです。子ども達に任せる仕事もあり、自分たちで考えて決定し行っていくこともあります。その一つがお当番です。年長児のひまわりが「自分たちは卒園するから次は任したぞ！」と次に年長児になるこすもすのみんなに託して伝えます。その時伝えたのがごみ捨て当番です。これも大人が全部やり方を教えるのではなく子ども同士で教えあいます。こすもすの子ども達もひまわりのお兄ちゃんお姉ちゃんから教えてもらうからこそ、真剣に話を聞いているようにも感じます。大人がそこに入らず子ども同士で行うことで感じる気持ちがあるのではないかでしょうか。その姿をみていて一年前を思い出し、そして一年後を少し想像しました。この一年楽しみだと感じた時でした。

今年も心躍るような楽しいことをたくさんしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

ひよこ・ひぐらしー3!

さあ！新年度が始まりました！

4月11日、4人のお友だちが入園し、ひよこ・ひぐらしー3歳児クラススタートです！

これから徐々にお友だちが増え、どんどん見栄えがいいこと間違いなし！

暖かい日は户外へ出て、自然に角虫たちのひめひめ遊びを楽しもう！



子どもたちは、見るもの・角虫などの全てが「不思議」と、神経でいっぱいです！

歩く、走る、立つ、喜ぶなど、子供たちは一緒に、様々な経験をしていきたいと思われます。

また、一人ひとり生活リズムも違えば、発達にも大きな個人差があります。そのための一人一人に合わせながら、一人ずつ成長あります。大切にさせていただきます。角虫合戦、子どもたちの関係を大切にしながら、一緒に進んでいきましょう！

1歳から11ヶ月ごとに、行動範囲や興味が「成長」します。

1歳、走る・登る・跳ぶなど色々な動きができるようになります。同時に動きと一緒に「樂しい」時期です。そして子どもたちと、色々な発見と一緒に樂しみながら、たくさん本を読むから、思ひ出します。そして、子どもたちは「樂しい」「面白い」という言葉も使い始めます。大人も子どもと一緒に全力で遊びます！！

1歳半頃になると、自己主張が強くなり、(13ヶ月まで)自分の思いを表す方法にアドリブ。それを他の人に受け止め、寄り添いつながら遊びで遊んでいくのが新しい年齢。



個性差があるのです。それと「私はお友だちと一緒に遊びたい」と思っているのです。

二歳からの子どもたちの変化や成長が「樂しい」！

保護者のお友だちと子どもたちの成長を見守り、一緒に「喜び」合っていることは嬉しいものです。1年後も3歳まで元気なことが大切です。

新しいおともだち
で遊ぶおともだちね！！

おともだち
の笑顔が
うれしい

ちか

か

ちか

1.2歳児クラス



くまぐる~♪

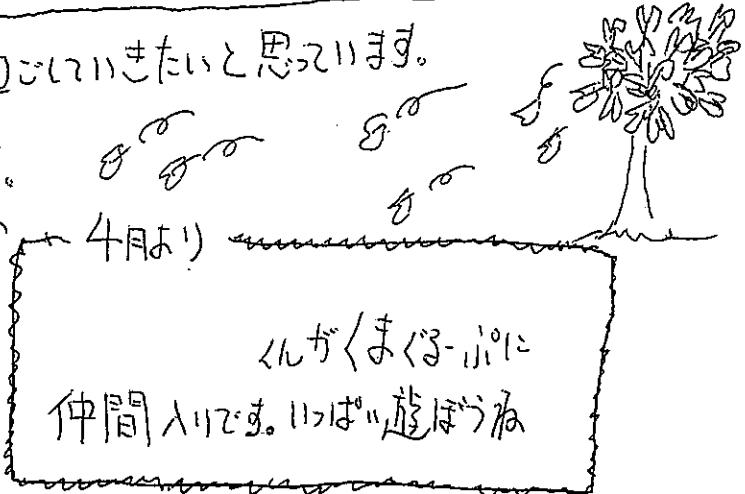
ホカホカと暖かい日が続き、桜の花も咲き始めました。穏やかな春ですね。

2023年度のくまぐる~♪は、昨年度のりすぐる~♪から11名が進級し、ひぐる~♪たたかわんもくまぐる~♪に進級します。くんは4月より再び他の子に仲間入りをし、13名でのスタートになります。くまぐる~♪の保育士はよーよー()、のんちゃん()とやまとせんせい()のりすぐる~♪がの持ち上がり3人です。朝夕の合同保育では、みんなと一緒に過ごしていました。また一からいきなり子どもたちとの関係を築き、深めていきたいと思っています。そして、子どもたちは心も体もぐんぐん成長する時期です。そこでくまぐる~♪では以下の3つのことを大切に、日々を過ごしていきたいと考えています。

1. ぐる~♪が子どもたちにとって楽しくて、安心できる場所であること。
2. 友だちと一緒に遊ぶことが楽しくてしかたがない場所であること。
3. 何でもやってみよう。遊びも身の回りのことも簡単なことから少しずつ「やりたい!」と思った時にじっくりやってみよう。

この3つのことと大切に日々を過ごしていきたいと思っています。

1年間どうぞよろしくお願ひします。



2歳児クラス きりんぐるーふ

1つ大きくなって新学期きりんぐるーふのスタートです。4月は16名からの始まりです。

自分の身のまわりのことが少しづつ大人の手を借りず、自分でできるようになってくる2歳児。
なんでも「シブンデ!!」と自我が充実し拡大していく時期です。

できる、できないなんておかまいなし、とにかく自分でやりたい!したい!「やりたがり屋さん」
そんな2歳児です。スポーツが万能…オタニが段違い…あら…と思うことをたくさんあります
それでも「自分でできた!!」「自分ですごい!!」という思いをたくさん味わうことが大切だ
ことです。ひとりを持ち、自信で笑顔に「自分でできた!!」と思える経験をたくさん味わって
いけるように過ごしていきたいと思います。

やることで新しいことをはじめる自分です、今日は… 昨日は… 明日は…
などなども増えたり、泣き通したりすることも。一日前のことと言いつても、まだまだいいばかり
甘えたいやつもちらほらいる時期でもあります。

焦らす行き先ひとつで一步一步出来るようになっていく姿を、お母さんお父さん達と一緒に見守りたいと思います。

みんなと一緒にやってみたい!!



「おひな」「いじょ」「かどり」とんな楽しくなっています。自分の思いが「友だちに通じ
合う」とうれしいですね。ですが「自分はこうしたい、だけど相手はこうしたい」と、それが叶
主張し合い、自分の思いを相手に伝えるのはまたまた難しいです。お互い一緒にあそび
たいからこそぶつかり合いも多くなっています。一人一人の思いに寄り添い大人が架け橋
となるてお互いの思いを伝え合い、よりいい、「イッショガたのいい」を味わっていけたら
と思います。

一人ひとりが「のびのび」生き生きと
「いも体もたくさんく 毎日をたのしく 過ごしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。



ちゅうりっぷ 3歳児

2月から、たてわりぐるーぶーに入っていましたが、いまはちゅうりっぷになりました。幼稚園クラスへの仲間入りです！「もうすぐちゅうりっぷさん」とひとつ大きくなることを喜びながらも、「少し照れくさうな子どもたち。もうお兄ちゃん、お姉ちゃんだから」と自分のことは自分で、新しいことに挑戦し、
〇〇できたよ！と嬉しそうな様子です。

たてわりぐるーぶークラスでたくさん遊び、楽しいこと、嬉しいこと、悔しいことなどなど、友だちや大人と様々な経験をし、その中で、友だち関係、大人との関係などなどだけではなく、深めてもらいたいです。また、お兄ちゃん、お姉ちゃんからたくさんの刺激を受け、子どもたちと一緒に日々の生活を楽しんでいきたいと願っています。私も幼稚園クラスに初めてなので、ドキドキワクワクしています。1年間よろしくお願ひします！

こすもすぐみ 4歳児

「自分はできる！」という見えない自信に満ちていたイッショマエの3歳児だった子どもたち。幼稚園生活（ぐらーぶー）で過ごしていく中で、人の関わりや遊びから刺激を受け、今度は自分たちが「年下の子供も気遣う姿もみたり、子どもたちの成長を感じます。

4歳児になると、友だちとの関わりがより一層活発になり、自分中心の考え方から他の人のニヒニまで「目を向けられるようになります」となり、「脳が大きく発達します。友だちとの関わりが増えることで、お互いの主張が言葉めずらにぶつかり合い、ケンカにならぬことがあります。タビモノにて、今は協調性や思いやりの心を学び、成長できることです」と私は思っています。

子どもたちの「自分はできる！」を最大限に發揮できるように、**「できた自分です！」**をたくさん経験して、自信をもって生活や遊びを楽しめるように見守っています。一年間、よろしくお願ひします！

ひまわりぐみ 5歳児

子どもたちが待つた「ひまわりさん」です。昨年度、後半から憧れ続けた「ひまわりさん」になりました。喜びと共に言葉らしい気持ちでいい、[よい]だと聞きます。今年は、色々な経験を重ね、コロコロもかわいも思ふたり動かかしく、や、(身)僕たち(私たち)はすごいんだ!! という自信をつけ谷川いの豊かな年です。また、何事にも全力で取り組み、あとは「はははめないからだ」(=たゞ)谷川いのです。すー、と英に追いついた友だちと色々なことをやり取りして、友だちや仲間の伴もより深めています。

あとは、語を聞く力・自分の意志をコトバにする力をつけることを思っています。語じ合の時間も大事にして、色々な考え方や思いを知ったり、友だちの気持ちに気付いたりできるようになっていきたいです。

私自身は久しぶりの年長クラス担任です。私も子どもたちを全力で楽しませたいと思います！！

キューピーキッチン

最近はだんだんと暖かくなり、桜も咲き始めて好きな季節がやってきたと嬉しい思っています。子どもたちから「おいしい」という言葉がたくさん聞けるよう4月から頑張りますのでよろしくお願ひします。

〈旬の食べ物について〉

今回は春の旬の魚である「鮭(サケ)」についてご紹介しようと思います。関西では漢字のとおりサケは春を告げる魚として知られていますが、関東では(?)2月の脂がのった寒鮭が好んで食べられていたため、冬が旬とされているようです。

サケは人の体をつくるためになくてはならない栄養素であるタンパク質や子どもの脳や神経の発達に必要とされているDHA、血漿をサラサラにする効果があるとされているEPAなどとても豊富な栄養素が含まれています。サケのいいい食べ方には定番の西京焼きの他にも塩焼きやお刺身があります。サケのお刺身は私は聞いたことがなかったのですが、岡山県ではよく食べられているようです。今回は西京焼きのレシピをご紹介したいと思います。

～サケの西京焼きの作り方～

材料(4人分)

サケ	4切れ
酒	大さじ2
みそたれ	
酒	大さじ4
みりん	大さじ4
砂糖	小さじ2
白みそ	大さじ6

手順

- ① サケに酒をしみ、10分おく。水気をふきとる。
- ② みそたれの材料を混ぜ合わせる。
- ③ サケの両面に②のみそたれをぬり、ラップをして冷蔵庫で30分~一晩おく。(漬ける時間が長いほどしっかり味になります)
- ④ フライパンに油をひき、弱火で熱し、③のサケを両面焼く。
※ みそでこげやすいので火加減に注意。
みそが焦る場合には焼く前に少しふきとてOK。

[春です！ さあお出かけしましよう!!]

長く、暗いトンネルの中に明るい日射しが差し込んできたように感じます。ちょうど季節も春！服装も軽やかになり、動きやすくなってきました。「ねえねえ、どっかおでかけしようよ！」と子どもたちの声が聞こえてくるようです。近所の公園に…スーパーへ歩いてお買い物に…通つたことのない道を歩いてのお散歩…特別なイベントではなく、普段の生活の中で思い立つたらすぐにできるようなお出かけがぜひおすすめです。さあ、身軽な服装で、お気に入りの靴を履いて、水筒を持ってお出かけしましよう！

☆“歩く”をあそびましょう！

*手をつないで一緒に歩きながら、つま先立ち歩き・かかと歩き・大股歩き・忍者歩き(すり足)など、歩くスピードや歩き方に変化をつけてみましょう。

*「さあ、どっちに行く？」交差点など、どの道を行くのかを隊長が決めます。隊長が「右の道！」と言つたら右方向へ。もちろん指差しで「こっちのみち！」でもOK。隊長はどんどん交代しながら道を決めていきます。じゃんけんで決めるのもあります。

*しりとりゲームを使ったあそびです。「お・さ・ん・ぽ」は4歩進めます。「ぼ・て・と」は3歩。長い単語を見つけるとたくさん進むことができます。どちらが先にたどり着くかな？



☆“遊歩道や公園など、広い場所を見つけたら動き回りましょう！”

*電車ごっこのように縦に並びます。前の運転手さんのマネをしながら離されないようにについていきます。ジグザグ歩き・しゃがんでアヒル歩き・ケンケンパー歩き・スローモーション歩きなど、自由に変化をつけてみましょう。動物模倣も楽しいです。

*向かい合わせになって両手をつなぎます。ダンスを踊るように前に後ろに左右に動いてみましょう。お互いに足を踏まないように、こけないように軽やかに動けますか？

*『空中散歩』前向き抱っこのようにお子さんの脇を抱えて持ち上げます。子どもたちは地面を歩いているように両足を動かしましょう。少し足が地面にあたる方が浮遊感を楽しめます。

「またおでかけしちゃうね！」と声が出ること間違いない！さて明日はどこへ行きましょうか？

阪神タイガース応援部

(24.2)

いよいよ3月31日にプロ野球開幕ですね!!!

ですが、その前に... WBC世界一おめでとーう!! 我らが阪神から1位。
中野拓夢選手と湯浅京己選手が選ばれていきましたが、活躍してくれました。
その経験を得たものを阪神に還元してもらい、アレしていいですね!!
とにかくとにかく!! 中野と湯浅選手感動をありがとうございます!!

さて、3月号で書いた木浪vs小幡の遊撃争いですが、大逆転で小幡が
勝ち取りましたね。守備を重視している岡田阪神なのでその点でも小幡が
一つ上だったといつてこうじょうか。中野・小幡の二遊間コンビにも注目です!!
そして、ルーキーの森下選手。なんとオープン戦17試合に出場し、安打数、打率、
打点、本塁打でチーム4冠ですよ!! 打率に関しては12球団で21位の打率を
残しています。開幕戦は「6番、右翼」での先発を確定にしたとの情報もあり
大山と佐藤輝の調子も少しずつ上がってきていると思うのですが開幕戦が勝利して
勢いに乗っけたらいいですね。

阪神ファンのみんな、今年こそアレができるように一糸繋ぎましょう!!

大ニュース!!

阪神タイガース応援部の新部長が決まりましたー!!!

就任して下さったのは... エン(ニギヤケ,VANVAN)さん(うわくわく)です。

新部長

日本一を目指して一糸繋ぎ盛り上げていきましょう(笑)

(部員も大・大・大募集中です! 今のところおおすまし、山本先生、みくしかいません)



絵本の広場（以前園だよりにあったコーナーのひとつです。久しぶりに書いてみました）

今村 優二

昨年度 3月最終日、卒園のちゃんが、お手製絵本を手にリビングにやってきました。「微生物」をテーマにしたちゃんが書いた本です。

絵本「ちいさな ちいさな～めにみえない びせいぶつの せかい～」と「いろいろ いっぱい～ちきゅうのさまざまないきもの～」の2冊を底本とした力作で、表紙の下のほうには「浅香社」と社名入り。なんと見返しには、献辞があるではないですか。すべてアルファベットで家族全員の名前が書かれて捧ぐとあるのですね。…なかなかよろしい！

文章も素晴らしい、上手に読み聞かせもしてくれました。…大いによろしい！

大きい微生物代表ゾウリムシの絵はていねいで力があります。米国イエローストーン国立公園のモーニンググローリーポールのきれいな絵があり、彼女によると「これは熱い温泉の池で、微生物によって鮮やかな色がつくりだされた」のだそうで、赤を基調としていろんな色が塗り込まれています。工夫や手直しがなされています。…Good job！

担任みくに話聞くと、お家で何日もかけて食事前に取り組んでいたとのこと。温かな居場所で、なにかに没頭できるというのは幸せです。…Wunderbar!!

実はこの時やってきたのは、ちゃんだけでなく、友だちのちゃんもその2冊の絵本を抱えて一緒にやってきたのでした。なんともいえぬ嬉しそうな表情で、自分事のように誇らしげです。友だちが夢中で作ったものに、心から感心しリスペクトしているのがいいです。

ちゃん本のもとになった絵本は、イギリスの「ちいさな ちいさな」「いろいろ いっぱい」（ゴブリン書房）です。エミリー・サットンの絵は、あたたかくかわいい絵で色がいいです。見れば見るほど味が出る絵です。日本人とは違う感性の絵に出合うのはとても良いですね。文のニコラ・デイビスは動物学者。絵本の構成が素晴らしい。子どもがぐぐつと興味を持つ絵本です。訳の越智典子さんは生物学を学んだ方で、他にもおもしろい科学本が何冊かあります。

「いろいろ いっぱい」で子どもは多様な生き物をたくさん見つけることでしょう。JT 生命誌研究館の中村桂子さんが語る「生命誌絵巻」に通じるような絵本です。中村さんは、《個というのを大事にしてそこばかり見ていると、「私が、私が、私が」となってしまいますでしょう。でも「私たち生きもの」がますますあるところから始めると、心がぐんと広がると思うのです。》とおっしゃっています。この絵本に登場する女の子がまさしくそうで、自分中心人間中心ではないので、読者の視点も「生きものの中の私」になるところが良いと思います。きっと、ちゃんにとって、この2冊は琴線に触れる目うろこ本だったのでしょうね。

微生物について書かれた「ちいさな ちいさな」の中にこんな素敵なお文があります。

《ちきゅうの いたるところで いつも、ちいさなびせいぶつが たべて たべて ふえて ふえて、

なにかを ほかのなにかに かえつづけている。

めには みえないけれど、せかいを かえつづけている。

びせいぶつは、とてつもなく おおきな しごとを している、

ちいさな ちいさな いのちなのだ。》

さて、デイビス&サットンの絵本にもう一冊るので、いずれまた購入します。

タイトルは「うまれて そだつ～わたしたちの DNA といでん～」です。

